

平成24年度に樹立・策定する吾妻計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



万座天然カラマツ



天然カラマツの種



(1) 森林計画の概要

ア 位置

群馬県の北西部に位置し、中之条町（旧六合村含む）、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町に所在する国有林野57千haを対象。

イ 国有林の特徴

・吾妻東部地域

東部地域は、北は新潟県に接し、東は子持山、南は上毛三山の一つ榛名山に囲まれた地域である。

・吾妻西部地域

吾妻西部地域は、標高2,000m級の白砂山、横手山及び四阿山を経て浅間山に囲まれ、新潟県から長野県に隣接する地域である。

この地域は、大部分が上信越高原国立公園に指定され、草津に代表される豊かな温泉、ハイキング、スキー等の観光名所が多く、観光産業が盛んな地域である。

ウ 森林資源の状況

・人工林が22千ha、天然林が30千ha。

人工林面積は主にカラマツ39%、スギ21%、アカマツ13%、ヒノキ5%。

21年生～40年生が49%、41年生～60年生が40%と、資源が充実しつつあると同時に間伐期を迎えている。

・天然林は、標高800m以下の地域はアカマツ、コナラ等を主体とした二次林が多い。

吾妻西部地域の標高1,000m以上にはブナ、ミズナラ等が生育し、標高が上がるにつれてダケカンバ及びアオモリトドマツ、シラベ、コメツガ等の亜高山性樹種が見られる。

エ 機能類型別面積

水土保持林が33.2千ha、森林と人との共生林が21.9千ha、資源の循環利用林が2.1千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	2箇所	99 ha
緑の回廊	1箇所	619 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	2箇所	2,216 ha
自然観察教育林	2箇所	192 ha
森林ｽｯｯ林	1箇所	21 ha
野外ｽｯｯ地域	11箇所	2,739 ha
風景林	6箇所	555 ha
風致探勝林	4箇所	506 ha
その他	6箇所	13 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	22 ha
--------	-------



列状間伐

エ 伐採・保育事業量

主伐	86,562 m ³
間伐	143,122 m ³
造林	223 ha
下刈	1,071 ha
つる切	234 ha
除伐	351 ha



猛禽類の営巣木

オ 林道の事業量

林道開設	6路線	16,200 m
林道改良	20路線	4,400 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	46箇所
保安林整備	551 ha
地すべり防止	1箇所

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめ公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) 高山植物をはじめ希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業等の普及による間伐材の利用の推進。
- (7) レクリエーションの森の適正な管理

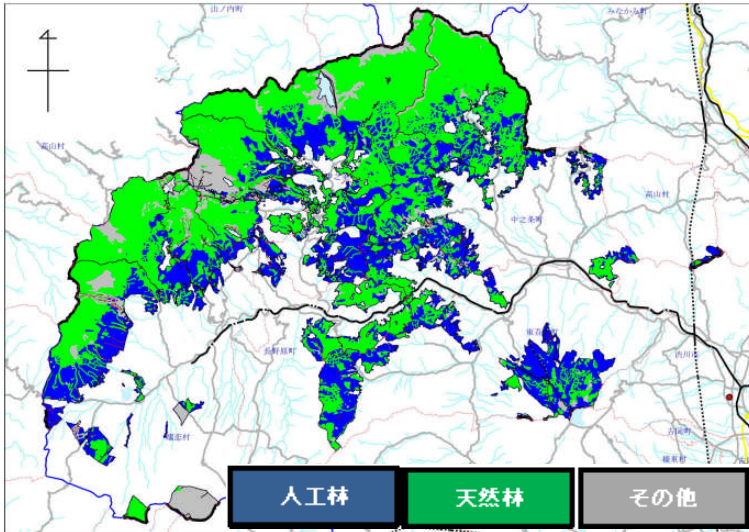
市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
中之条町	23,647	19,449	13,310	82	68
旧六合村	20,281	18,639	16,795	92	90
(小計)	43,928	38,088	30,105	87	79
長野原町	13,393	9,678	2,349	72	24
嬭恋村	33,751	25,637	14,344	76	56
草津町	4,974	3,664	3,502	74	96
高山村	6,416	4,887	139	76	3
東吾妻町	25,365	19,627	7,555	77	38
計	127,827	101,580	57,994	77	57

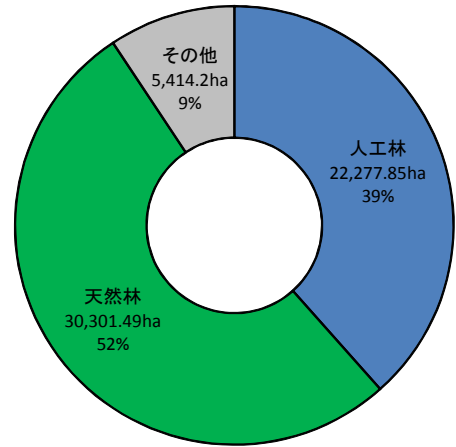
- 注) 1. 市町村面積は「群馬県統計年鑑平成18年度版」による。
 2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

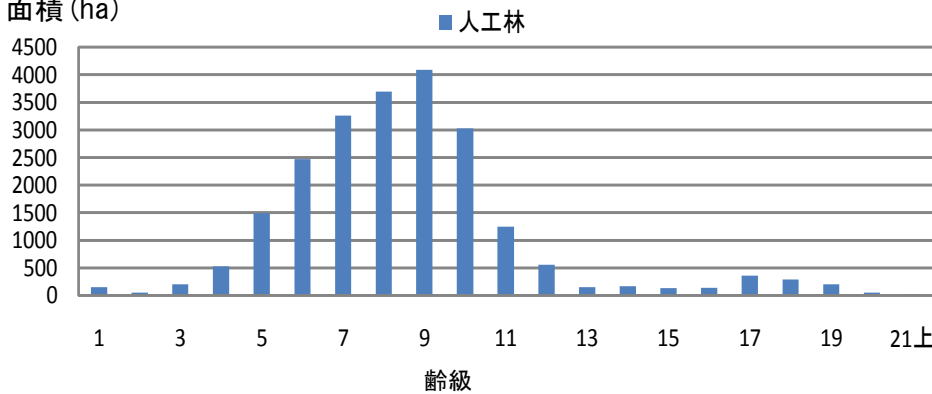


人工林・天然林別割合



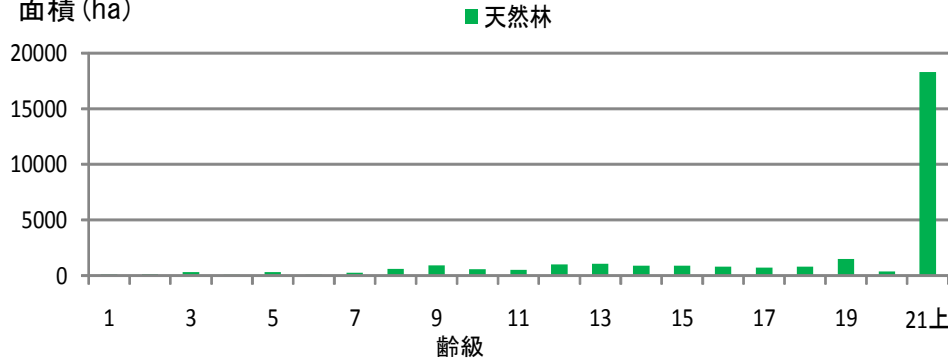
齢級別面積

面積 (ha)



人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

面積 (ha)



天然林は地域の森林生態系を構成する種として適切に保存します。

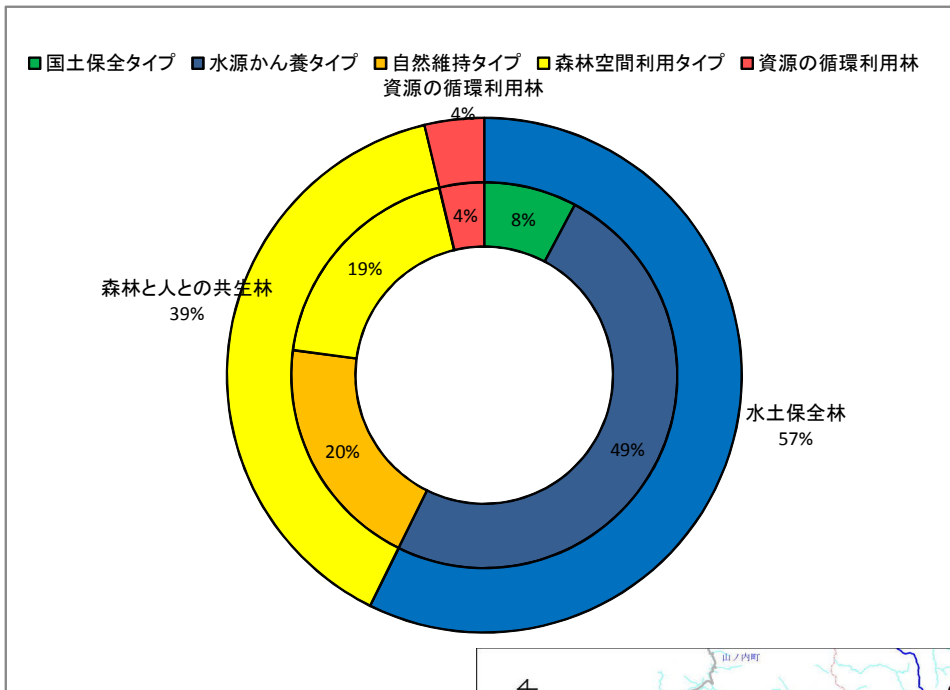
機能類型

機能類型区分について

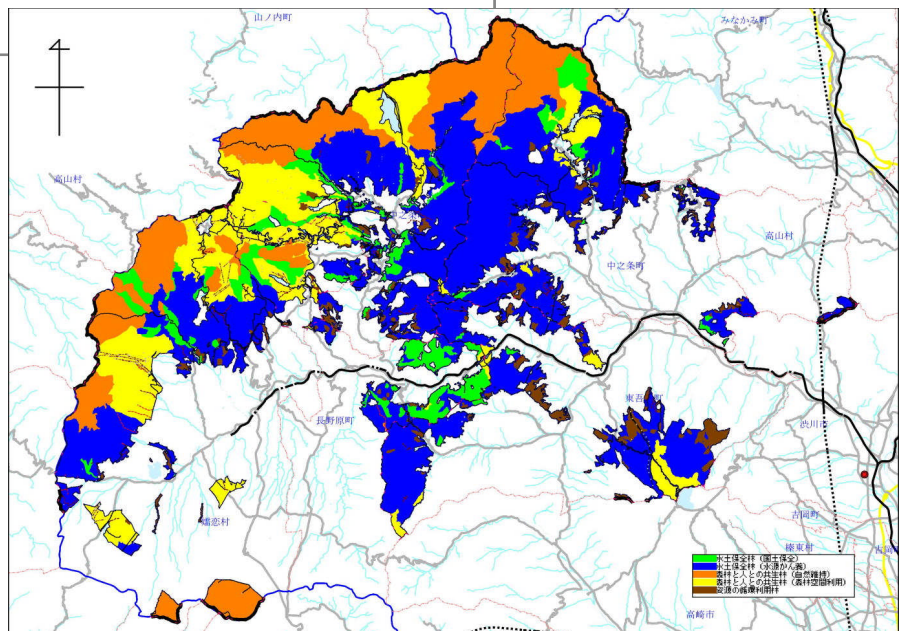
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

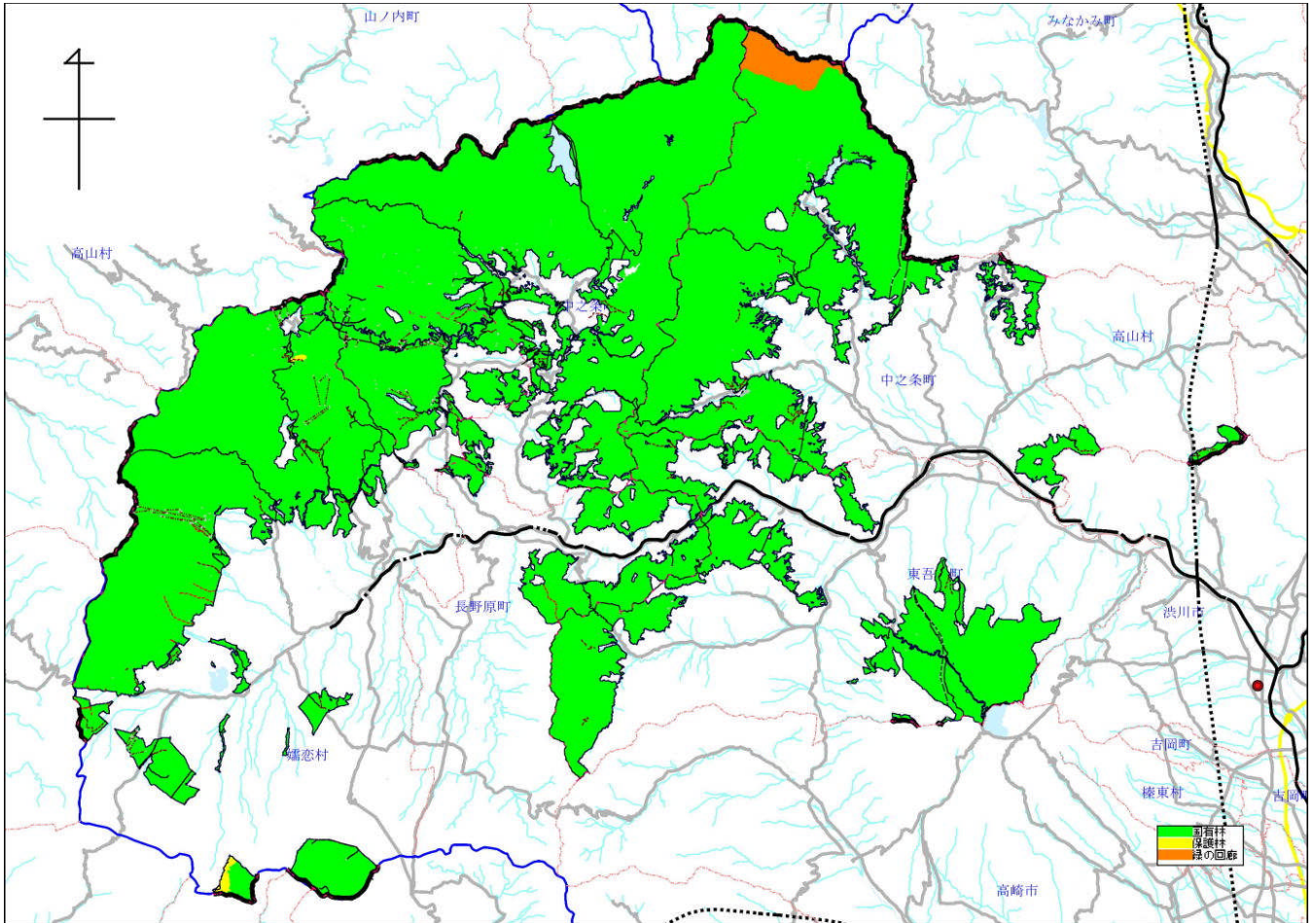
当計画区の機能類型は、水土保持林57%、（国土保全タイプ8%、水源かん養タイプ49%）、森林と人との共生林39%（自然維持タイプ20%、森林空間利用タイプ19%）、資源の循環利用林4%となっています。



- 水土保持林(国土保全タイプ)
- 水土保持林(水源かん養タイプ)
- 森林と人との共生林(自然維持タイプ)
- 森林と人との共生林(自然空間利用タイプ)
- 資源の循環利用林



保護林・緑の回廊



保護林・緑の回廊	名称	面積 (ha)
植物群落保護林	黒斑山天然カラマツ	76
	万座天然カラマツ	23
緑の回廊	緑の回廊三国線	619

Legend for the map:

- Green box: 国有林 (National Forest)
- Yellow box: 保護林 (Protected Forest)
- Orange box: 緑の回廊 (Green Corridor)

【植物群落保護林】

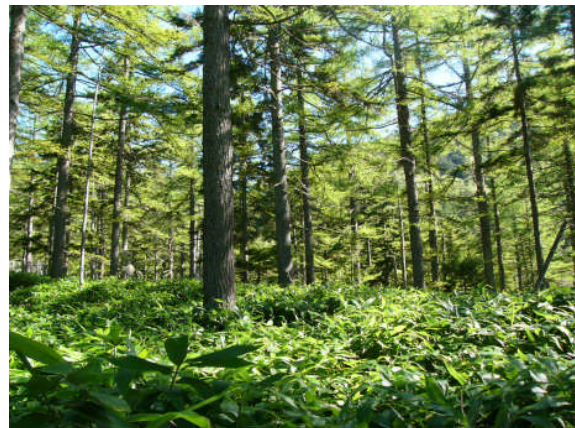
我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落等の維持、学術研究等に資する。

【緑の回廊】

保護林と保護林を結ぶことで、野生動植物が移動し生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系の保全を図る。

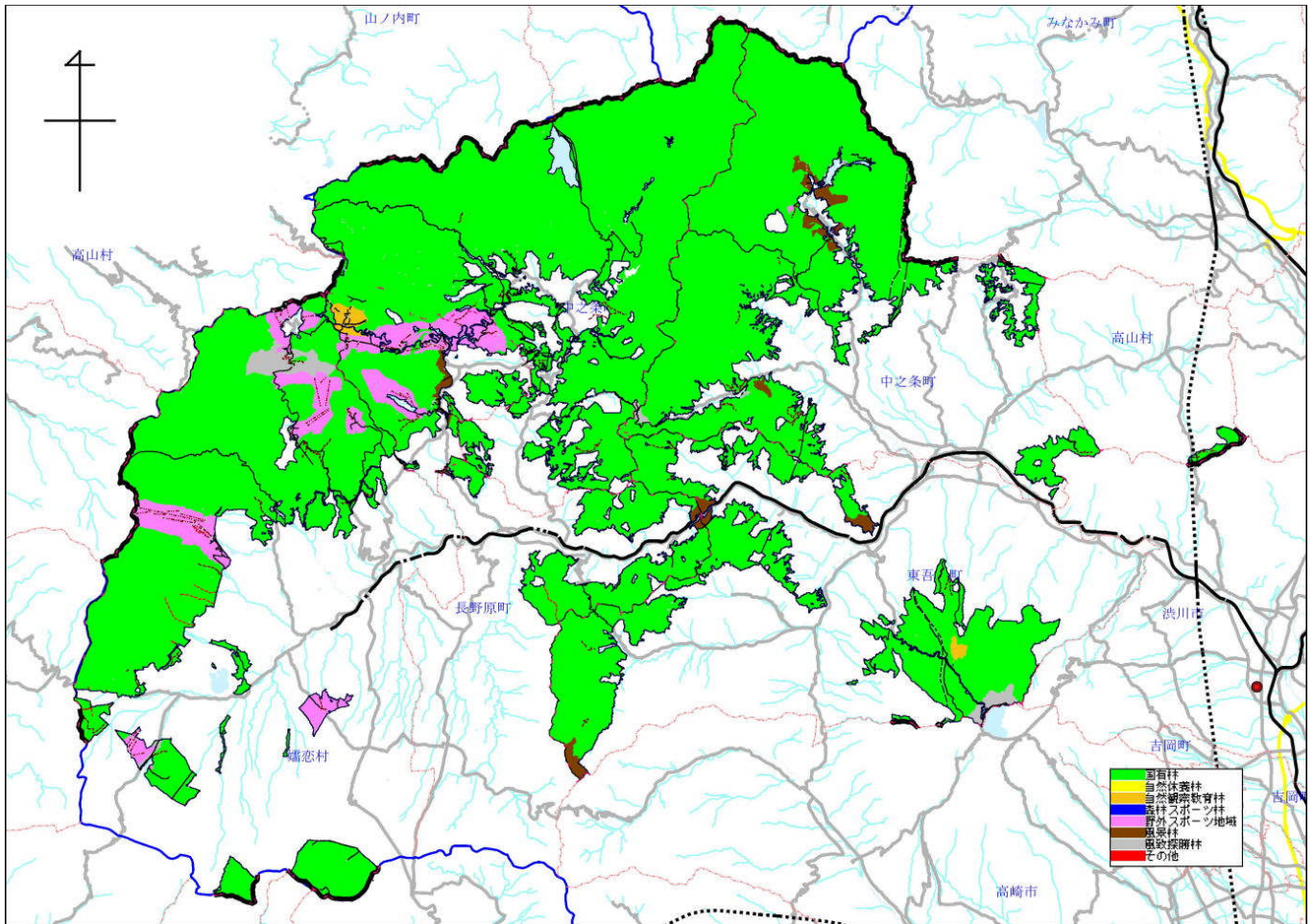


黒斑山天然カラマツ植物群落保護林

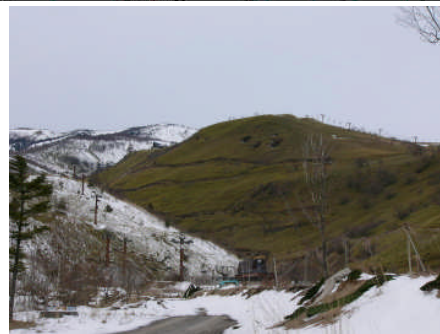


万座天然カラマツ植物群落保護林

レクリエーションの森概要



レクリエーションの森	面積 (ha)
自然休養林	2,216
自然観察教育林	192
森林スポーツ林	21
野外スポーツ地域	2,739
風景林	555
風致探勝林	506
その他(単独レク施設)	13



草津スキー場



【自然休養林】

自然休養の場として利用しつつ、風致的な森林整備を図る森林の区域

【自然観察教育林】

当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し、自然科学教育等に適した地域

【森林スポーツ林】

森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域

【野外スポーツ地域】

スポーツ施設及び滞在型施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林

【風景林】

レクリエーション利用上の近景林、遠景林としての風致の維持に配慮する必要がある地域

【風致探勝林】

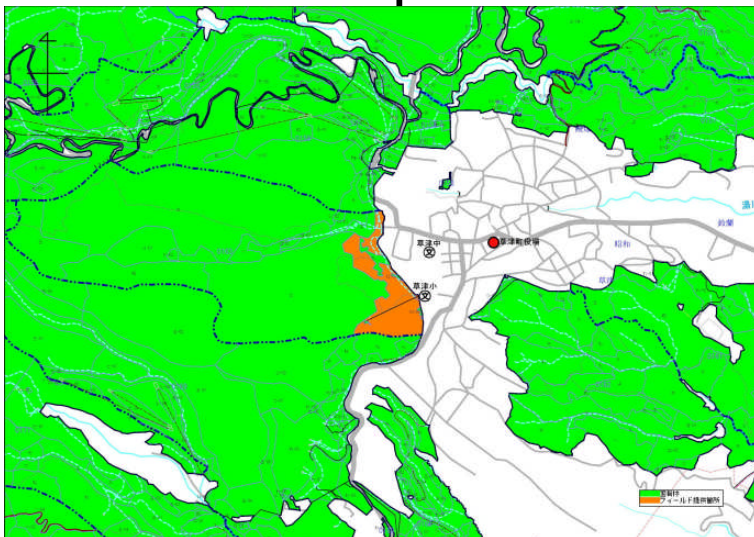
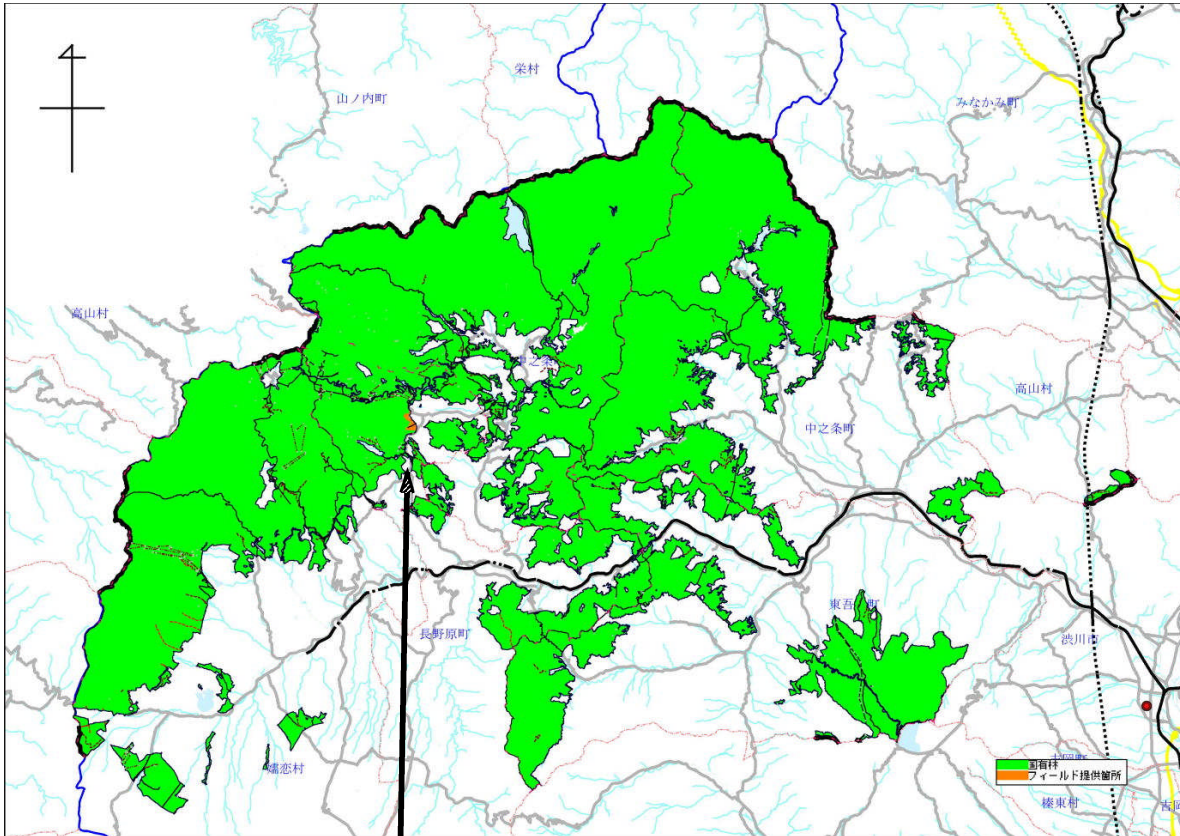
湖沼、溪谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で、森林内における休養活動を助長することに適した地域

【その他(単独レク施設)】

単独でレクリエーションの施設の用に供される地域

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



フィールドの提供

種類	名称	面積(ha)
ふれあいの森	草津やすらぎの森	22

【ふれあいの森】

森林をフィールドとした国民の自主的な森林整備活動の場として設定する。